

アクションプログラムの検討状況(まちづくり通信第4号)に、御意見をいただきました。

前号のまちづくり通信で、「アクションプログラムの検討状況」について御意見を募集したところ、36名の方々から延べ79件の御意見をいただきました、ありがとうございました。その一部を御紹介します。

いただいた御意見も踏まえながら、今回御紹介しているアクションプログラム(案)を作成しています。詳細は、以下のページに「第4回洛西ニュータウンアクションプログラム検討会の資料1-2」として掲載しています。

(URL : <http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000214211.html>)

具体的な意見

子育て・若者世代を始めとした各世代が住みやすいニュータウンの基盤づくり

- 子育て世帯向け住宅の充実。多様な住宅の整備を。

生活・福祉など居住魅力を高めるサービスの向上

- 子育て世代にとって、住まいの近くに仕事があるかどうか大きな要素。
- 移動が困難であったり、インターネットの使い方が分からない方々への対応充実を。

洛西ニュータウンの魅力充実と交流人口の呼び込み

- 観光資源の活用等による交流人口の呼び込みは賛成。宿泊施設などもっと観光客のための施設を。
- 更なるサブセンターの活用を要望。日常的な買い物ができるように。

情報の発信

- まちづくり通信で初めてまちづくり活動があることを知った。子育てのことなど、できることから私も取り組みたい。

公共交通の利便性の向上

- 洛西口駅・桂川駅ができて便利になった。バスもよく利用している。
- 近々の取組として JR 桂川・阪急洛西口に市バスの増便を。

住まいの近くで働ける場づくりの検討

- 洛西ニュータウン及びその周辺に働く場づくり(特に子育て世帯や元気な高齢者)を。

アクションプログラム策定についての進め方

- 自分たちの住むまちのまちづくりは自分たちで行いたい。市民の意見を言える場がもっと必要。

アクションプログラム全体

- 網羅的に記載されているので、実現性の高低が見えにくいように感じる。
- 冊子に記載されていることが一つでも多く実現できるように期待している。

アクションプログラムの推進体制

- 進行管理を行う推進会議は、住民中心となるように。
- NPO 法人型のまちづくり会社設立の検討が必要。

発行:洛西ニュータウンアクションプログラム検討会

事務局 京都市都市計画局都市企画部都市総務課 担当 菱田, 平岡, 篠(しの)

電話 075-222-3610 FAX 075-222-3689 メール toshisomu@city.kyoto.lg.jp

(記載内容に関するお問合せやまちづくりに対する御意見等ございましたら、事務局までお願いします。)

洛西ニュータウン まちづくり通信

第5号

平成29年2月

●発行
洛西ニュータウン
アクションプログラム検討会

第4回洛西ニュータウンアクションプログラム検討会を開催しました！

1月31日に、第4回の洛西ニュータウンアクションプログラム検討会を開催しました。

「洛西ニュータウンアクションプログラムの策定に向けて」に対する意見募集結果、ワーキンググループ(WG)の開催・検討状況について報告が行われ、洛西ニュータウンアクションプログラムの最終案が提示され、アクションプログラムの最終確認や、推進体制に関する具体的な議論が行われました。



検討会での主な意見

【住まいに関する意見】

○洛西ニュータウン内の住宅ストックがスムーズに流通するための仕組みづくりは必要である。

○JTI(移住・住みかえ支援機構)の住み替え制度*が十分に活用されていない。この制度の周知に努めるとともに、この制度を使用することにより、ニュータウン内の高齢者向け住戸に優先入居ができるといった仕組みを検討してはどうか、との意見も住まいワーキングでは出されていた。

※ 広すぎるなどの理由によりマイホームを貸したい人(貸主)から、JTIがこれを借り上げ、賃貸物件を借りたい人に貸す制度。これにより、貸主は賃貸料を収入(空き家保証制度もあり)し、適正な広さの住戸に入居できる。

○住み替えの意思を持つ人が、特に資金計画面等でのアドバイスを得られる窓口を設置することが必要。

【高齢者の新たな居場所づくりに関する意見】

○取組を進めるに当たっては、実際の現場の取組状況やこれらに携わっている人達の意見を聞きながらやってほしい。

【大原野との連携に関する意見】

○大原野地域としては、マルシェ大原野としてらくさいマルシェに参画したり、かぐやひめ市をニュータウン内で実施したり、農業・農産物による地域振興事業をニュータウン内のNPOと協働して実施するなど、ニュータウンとの連携に現在も取り組んでいるし、これからもやっていきたい。

○大原野との連携について記載されているが、大枝地域との連携も必要と思われるので、大枝・大原野と記載するべき。

【竹林公園に関する意見】

○竹林公園については、開設当初は来園者も多かったが、最近はニュータウン内住民にも知られていないようなので、この公園の魅力について、一層のPRを図ってほしい。

【推進体制に関する意見】

○アクションプログラムの内容については、自治連合会のみならず、検討会に集まっている委員の一人ひとりが、ニュータウン内の住民に知らせていただきたい。

○取組の項目が80と非常に多いので、取組主体を誰にするのか優先順位をどうするのかなどしっかり検討しながら、取組がスムーズに進められるようにすべき。

アクションプログラムの検討状況は、まちづくり通信や京都市のホームページでも公開していきます。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu4/category/55-12-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

洛西ニュータウン

アクションプログラム

検索



記載内容に関するお問合せやまちづくりに対する御意見等ございましたら、裏面の事務局までお願いします。

見開きになっている中の面もご覧ください

「洛西ニュータウンアクションプログラム」の全体像

I アクションプログラム策定の趣旨・計画期間

洛西ニュータウンでは10年前に、「まちづくりビジョン」が策定され、これに基づき、様々な活動が行われてきましたが、現状において、人口減少・少子高齢化などの課題が顕在化してきており、改めて、まちの活性化を目指すため、社会状況の変化やこれまでの取組等を踏まえ（Ⅱ）、まちを次世代に引き継いでいくという「まちづくりビジョン」の理念を踏襲しつつ、取組の方向性を定め（Ⅲ）、今後喫緊に実施していくべき具体的な事業等（Ⅳ、Ⅴ）を取りまとめるものです。

計画期間は平成29（2017）～32（2020）年度の4年間となっています。

Ⅱ 現状(アクションプログラム検討の視点)

- このままでは、今後更に人口減少・少子高齢化傾向が強まることが想定される。
- 高齢化が進む中、まずは、住民が安心して暮らせて、みんなが生き生き活躍できるまちづくりが引き続き必要ではないか。
- 更には、ニュータウン外から、特に若者・子育て世代といった若年ファミリー層の呼び込み・定住促進を図ることが必要ではないか。
- そのためには、若い世代が訪れたいくなるようなまちの魅力の充実とともに、働く場所の創出などに取り組み、合わせてその情報発信をしていくことが必要ではないか。

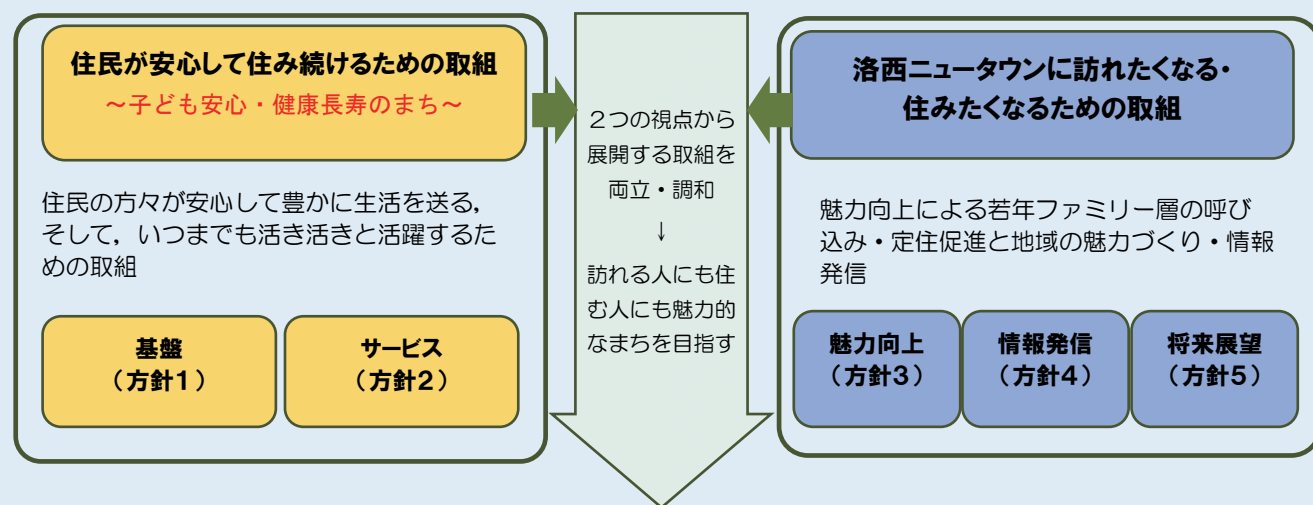
Ⅲ 取組の方向性

アクションプログラムのキャッチフレーズ

来て・観て 住み続けたいくなるまち 洛西ニュータウン！

～訪れる人にも、住む人にとっても魅力的なまちを目指したアクション～

まちづくりビジョンにおける「目指すまちのすがた」を基本としつつ、高齢者や障害者、子育て層等がより暮らしやすくなる取組を充実するとともに、特に若年ファミリー層の呼び込み・定住促進を実現する具体的な取組を進めます。

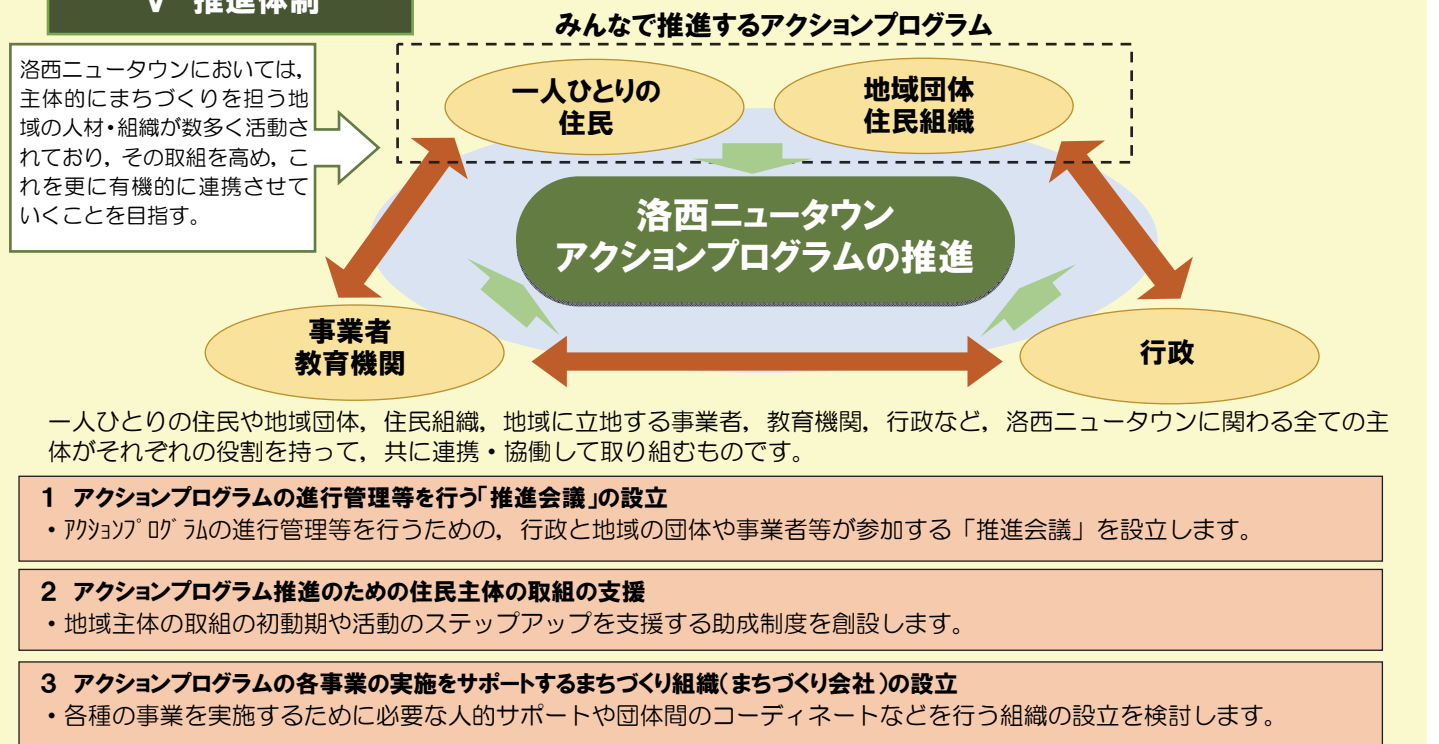


次世代に引き継ぐことのできる洛西ニュータウンへ

Ⅳ 取り組んでいく方針・テーマなど

方針	テーマ	主なアクションプログラム・取組
1 若者・子育て世代を始めとした各世代が住みやすいニュータウンの基盤づくり ～誰もが住みたくなる「子ども安心・健康長寿」のまちへ～	1 多様な主体による子育て・医療・福祉の機能の充実と連携促進 2 洛西ニュータウン住宅流通促進システムの構築 3 良好な住宅地景観・住環境を守るための地域活動の推進	○子育て支援情報発信拠点の設置 ○市営住宅子育て向けリノベーション ○医療福祉拠点機能の誘致 ○住宅流通促進の様々な取組
2 生活・福祉など居住魅力を高めるサービスの向上 ～若年層の定住とまちの魅力向上に資する子育て環境の創出～ ～高齢者や障害者もみんなが生き生きと住みやすいまちづくり～ ～新しい「働くスタイル」の創出～	4 安心して子育てのできる子育て支援サービスの充実 5 子ども達が健やかに育つ環境や学びの機会・魅力づくり 6 子育て中のママ・パパが持つスキルを社会とつなげる仕組みづくり 7 高齢者・障害者に住みやすいまちづくり、生きがいづくり 8 高齢者を始め地域住民がニュータウン内で働ける機会・場づくり	○高等教育・研究機関と小中学・高校との連携による教育プログラム提供 ○子育て支援団体等と子育てファミリーのマッチングイベント開催 ○様々なスキルを持つ子育て中のパパママや高齢者がニュータウン内で働ける場・仕組みづくり ○高齢者・障害者の地域での生活を支える情報発信など
3 洛西ニュータウンの魅力充実と交流人口の呼び込み ～小畑川を始めとして、水・緑・まちの魅力充実～	9 洛西ニュータウンや周辺地域の魅力を活かした交流拠点機能の充実 10 緑豊かな公園の再生と新たな魅力創生による憩い・遊びの空間づくり 11 生物多様性に配慮したまちづくり 12 サブセンターの有効活用	○宿泊機能（ホテル）の誘致 ○ニュータウン内の新たな夜の賑わいづくり ○小畑川公園等再整備・竹林公園(仮称)子どもの楽園整備・プレイパーク事業 ○阪急高架下ポイントと連携したニュータウンへの交流人口呼び込みの取組
4 イメージ戦略も含めた仕掛けづくりと多様なメディアによるニュータウン情報の発信 ～訴求力の高い情報発信による洛西ニュータウンブランドのマネジメント～	13 魅力があり住みよいまち、洛西ニュータウンのイメージ戦略 14 ポータルサイトやまちづくり通信などによる情報発信	○洛西ニュータウンのブランド化戦略 ○洛西ニュータウンの周辺地域とも連携した魅力情報発信
5 洛西ニュータウンの将来を展望した更なる活性化に向けた検討	15 洛西ニュータウンの将来を展望した更なる活性化に向けた検討	【将来のための更なる取組の検討】 ○児童数・生徒数減少への対応と小中一貫教育の推進や先進的な学校づくりの検討 ○新公共交通システムの検討 ○市営住宅団地再生の検討 ○住まいの近くで働ける場づくりの検討

Ⅴ 推進体制



1 アクションプログラムの進行管理等を行う「推進会議」の設立
・アクションプログラムの進行管理等を行うための、行政と地域の団体や事業者等が参加する「推進会議」を設立します。

2 アクションプログラム推進のための住民主体の取組の支援
・地域主体の取組の初動期や活動のステップアップを支援する助成制度を創設します。

3 アクションプログラムの各事業の実施をサポートするまちづくり組織(まちづくり会社)の設立
・各種の事業を実施するために必要な人的サポートや団体間のコーディネートなどを行う組織の設立を検討します。